

(様式－1)

番号								
公共施設マネジメント推進室		室長	同課長補佐	同課長補佐	推進係長	係		監督職員 (主管課担当者)
都市計画課		都市計画課長	同課長補佐	課長補佐兼 街路公園係長	建築住宅係長	審査者	担当者	設計者
令和5年度 中野市障がい者デイサービスセンターいこいの里排水管布設替工事 金抜き設計書								
中野市大字西条62番2 障がい者デイサービスセンターいこいの里								
設 計 大 要				施 工 方 法		請 負		
障がい者デイサービスセンターいこいの里排水管布設替工事 一式 ■工事概要 ・排水管布設 L=122m ・プラスチック柵設置 13組 ・アスファルト舗装 A=160㎡等				施 工 期 間		日間		
				着 手 予 定 年 月 日		令和 年 月 日		
				完 了 予 定 年 月 日		令和 年 月 日		
				契 約 保 証 方 法		金銭的保証		
				主 管 課 係 名		公共施設マネジメント推進室 推進係		
				積 算 年 月		令和5年11月		

中 野 市

工 事 設 計 用 紙

起 工 理 由

障がい者デイサービスセンターいこいの里の排水管の布設替工事を行う。

請 負 対 象 額 円

工 事 価 格 円

消 費 税 等 相 当 額 円

(様式－3)

		当 初		第 1 回 変 更 (増 減)		第 2 回 変 更 (増 減)		第 3 回 変 更 (増 減)	
積 算 段 階	積 算 工 事 価 格		A		A1		A2		A3
	消 費 税 等 相 当 額		B		B1		B2		B3
	積 算 額		C		C1		C2		C3
契 約 段 階	工 事 価 格		D		D1		D2		D3
	消 費 税 等 相 当 額		E		E1		E2		E3
	契 約 額		F		F1		F2		F3
	増 減				G1		G2		G3
		$B=A \times 0.1$ $C=A+B$ $D=A$ に対する応札額 $E=D \times 0.1$ $F=D+E$		$B1=A1 \times 0.1$ $C1=A1+B1$ $D1=A1 \times F/C$ $E1=D1 \times 0.1$ $F1=D1+E1$ $G1=F1-F$		$B2=A2 \times 0.1$ $C2=A2+B2$ $D2=A2 \times F/C$ $E2=D2 \times 0.1$ $F2=D2+E2$ $G2=F2-F1$		$B3=A3 \times 0.1$ $C3=A3+B3$ $D3=A3 \times F/C$ $E3=D3 \times 0.1$ $F3=D3+E3$ $G3=F3-F2$	
注) 積算工事価格：落札率を乗じず、消費税等相当額を含まない額。 積 算 額 ： 積算工事価格に消費税等相当額を加算した額。 工 事 価 格 ： 応札額、または積算工事価格に落札率を乗じた額で、消費税等相当額を含まない。 契 約 額 ： 工事価格に消費税等相当額を加算した額。		D1	×	D2	×	D3	×		
		算	_____	算	_____	算	_____		
		出	≡	出	≡	出	≡		

工 事 設 計 用 紙

中 野 市

<div> <div>総括表</div> <div>第 1 号表</div> </div>						
名 称	品 種	単位	数 量	単 価	金 額	
令和5年度 障がい者デイサービスセンターいこいの里排水管布設替工事						
直接工事費						
A 排水管布設工事		式	1.0			
直接工事費計						
共通費						
A 共通仮設費		式	1.0			
B 現場管理費		式	1.0			
C 一般管理費		式	1.0			
共通費計						
工事価格						
消費税等						
合 計						

明 細 書

第 1 号表

名 称	品 種	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)	地中配管 100A	m	116.0			
硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)	地中配管 100A	m	6.0			
プラスチック樹	樹径150φ最大排水管径100φ 区分A/深さ501mm～800mm	組	2.0			
プラスチック樹	樹径150φ最大排水管径100φ 区分B/深さ501mm～800mm	組	2.0			
プラスチック樹	樹径150φ最大排水管径100φ 区分A/深さ801mm～1200mm	組	2.0			
プラスチック樹	樹径150φ最大排水管径100φ 区分A/深さ1201mm～1500mm	組	2.0			
プラスチック樹	樹径150φ最大排水管径100φ 区分A/深さ1501mm～1800mm	組	2.0			
プラスチック樹	樹径150φ最大排水管径100φ 区分A/深さ1801mm～2100mm	組	2.0			
プラスチック樹	樹径150φ最大排水管径100φ 区分A/深さ2101mm～2400mm	組	1.0			
鋳鉄製防護ワ	プラスチック樹用	組	9.0			
根切り	機械 バックホ 0.28m³	m³	167.0			
山砂		m³	26.0			
埋戻し	機械 バックホ0.28m³	m³	124.0			
発生土運搬費	機械積込み	m³	26.0			
敷均し	ブルドーザ	m³	26.0			
路盤工		m²	160.0			
表層	50mm 密粒度アスコン20 プライムコートPK-3	m²	160.0			

第 2 号表

中 野 市

令和５年度 中野市障がい者デイサービスセンターいこいの里排水管布設替工事

I 工事概要

- 1 工事場所
- ・中野市大字西条62番2 障がい者デイサービスセンターいこいの里

II 機械設備工事特記仕様書

●一般事項

- 1 設計図及び特記仕様書に記載されていない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）（最新版）」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）（最新版）」による。
- 2 上記施工基準によるほか、中野市財務規則、工事請負契約書及び関係法規を遵守すること。
- 3 提出書類は、監督員の指示による。
- 4 工事の実施にあたって、事前に実施工程表を提出し、監督職員と協議すること。

●工事種別

- ・排水管布設替工事 一式

●その他

- 1 建設副産物について
建設副産物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正処理が図られること。
また、最終引受場所、適正処理を証明する書類及び処分量について報告すること。
- 2 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）について
本工事が建設リサイクル法における対象工事に該当する場合は提出書類他必要な事務処理を適正に行うこと。また、下記の対象規模に該当する場合は、長野県の「建設副産物実態調査」の様式である「再生資源利用【促進】（計画・実施）書」により提出すること。
- 再生資源利用計画、実施書の作成（再生材の使用（搬入材））
 - ・土砂1000立米以上
 - ・碎石500t以上
 - ・加熱アスファルト混合物200t以上
 - 再生資源利用促進計画、実施書の作成（建設発生材の処分（搬出用））
 - ・建設発生土1000立米以上
 - ・コンクリート塊、アスファルト塊又は木材の合計200t以上
- 3 施工体制台帳及び施工体系図について
施工体制台帳「下請、再下請台帳及び全ての下請契約書」、施工体系図を整備し、写しを提出すること。また施工体系図は同現場及び公衆の見やすい場所に掲示すること。
- 4 シックハウス対策について
本工事に使用する材料は、下記の規格・規定品を原則とする。また、これらの規格が確認できる書類を提出し、監理者の承諾を得ること。また、施工中後は、化学物質低減のため換気を十分に行うこと。
- ・改正後のJAS・JIS規格による「F☆☆☆☆」
 - ・改正前のJAS・JIS規格による「Fc0、E0」＋試験成績表により確認ができるもの
 - ・大臣認定書により確認ができるもの。なお、『建築基準法28条の2 居室内における化学物質の発散に対する衛生上の措置』、『文部科学省 学校環境衛生の基準』等、シックハウス対策に関連する法令等を十分考慮し、設計書の仕様のみならずVOC濃度を下げる施工方法を提案し、監理者及び監督員との協議により必要な措置を講ずるものとする。また、ホルムアルデヒドをはじめとする化学物質が文部科学省「学校環境衛生の基準」で定める室内空気中化学物質濃度の基準値を下回っていることを確認した後工事物の引渡しを行うこと。
- 5 アスベスト対策について
本工事に使用する材料は、アスベストを含有するものを使用することなく、決定にあたっては規格証明書等により監理者の承諾を得て実施すること。建築物の解体等においては、石綿障害予防規則等の関係法令により適正に行うこと。
- 6 工事実績情報の登録
請負金額が500万円以上の場合は、工事実績情報（工事カルテ）の登録をすること。登録する際は建築工事標準仕様書に基づき登録の手続きを行い、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。
- | | |
|----------|------------|
| 工事受注時 | 契約締結後10日以内 |
| 登録内容の変更時 | 変更起因後10日以内 |
| 工事完了時 | 工事完了後10日以内 |
- 7 保険等について
請負者は、本工事における火災保険、労災保険、建設業退職金共済組合等必要な保険等に加入すること。
- 8 協力施工業者について
下請業者の選定にあたっては、市内に本社、営業所若しくは工場等があり、良好な業者を優先考慮すること。

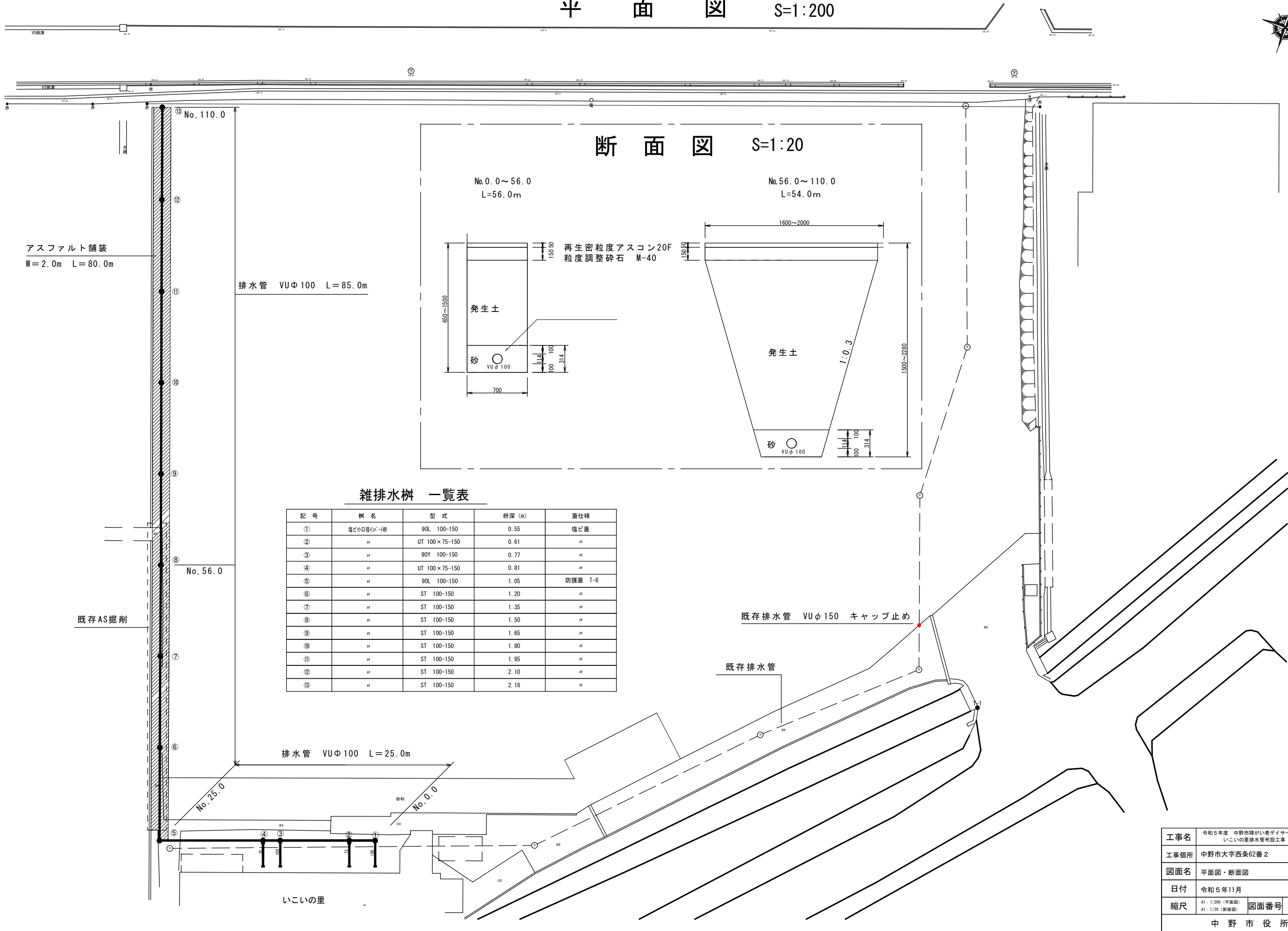


対象箇所

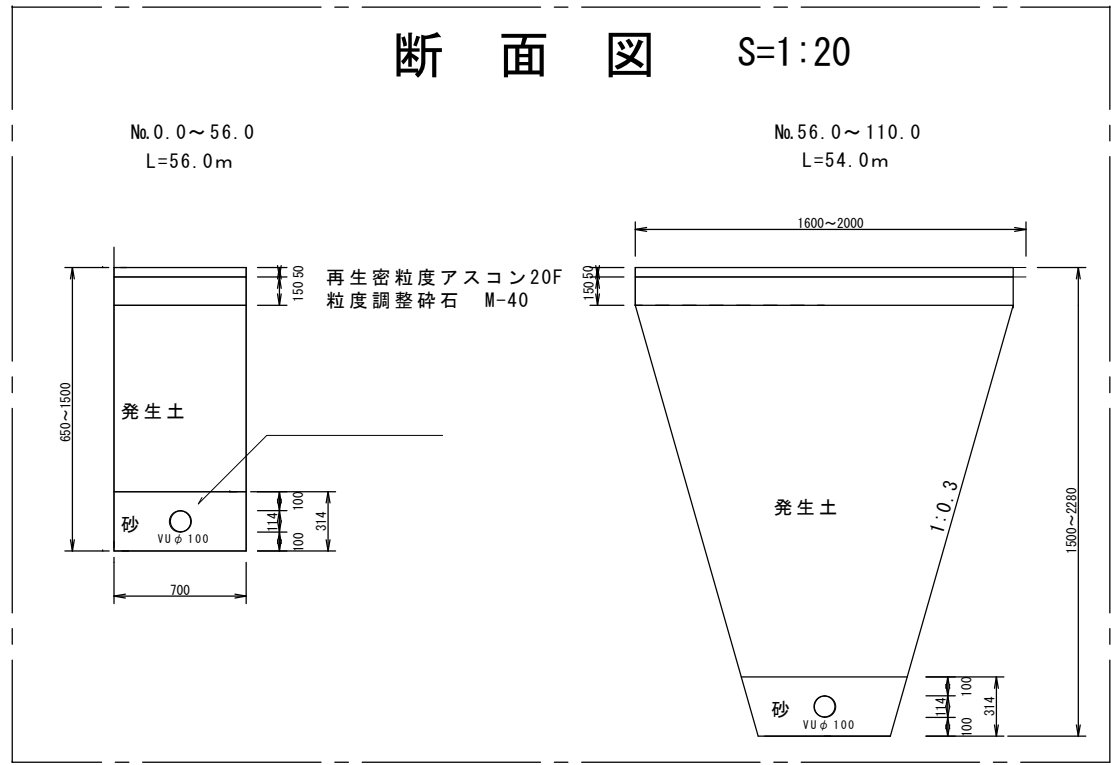
位置図 SCALE：NOACALE

工事名	令和5年度 中野市障がい者デイサービスセンター いこいの里排水管布設替工事		
工事箇所	中野市大字西条62番2		
図面名	特記仕様書・位置図		
日付	令和5年11月		
縮尺	－	図面番号	No.1
中 野 市 役 所			

平面図 S=1:200



断面図 S=1:20



雑排水樹 一覧表

記号	樹名	型式	橋深 (m)	蓋仕様
①	塩ビ小口径400mm→100mm	90L 100-150	0.55	塩ビ蓋
②	〃	UT 100×75-150	0.61	〃
③	〃	90Y 100-150	0.77	〃
④	〃	UT 100×75-150	0.81	〃
⑤	〃	90L 100-150	1.05	防護蓋 T-8
⑥	〃	ST 100-150	1.20	〃
⑦	〃	ST 100-150	1.35	〃
⑧	〃	ST 100-150	1.50	〃
⑨	〃	ST 100-150	1.65	〃
⑩	〃	ST 100-150	1.80	〃
⑪	〃	ST 100-150	1.95	〃
⑫	〃	ST 100-150	2.10	〃
⑬	〃	ST 100-150	2.18	〃

工事名	令和5年度 中野市障がい者サービスセンター いこいの里排水管路布設工事		
工事箇所	中野市大字西条62番2		
図面名	平面図・断面図		
日付	令和5年11月		
縮尺	A1: 1/200 (平面図) A1: 1/20 (断面図)	図面番号	No. 2
中 野 市 役 所			